

【議会報告会】

○神戸市東須磨小学校における教職員間のいじめが取り上げられているが、どう捉えているか。

⇒議員 非常に驚いている。本市の状況については改めて教育委員会にも確認する必要があるが、現在聞き及んでいる範囲では、本市では教職員間のいじめはないと信じている。

○待機児童数と入園待ち児童数は具体的にどう違うのか。

⇒議員 特定の園に行きたい、兄弟と同じ園に通わせたい、自宅から遠方の園だと負担が大きいなどの理由で、第3希望までしか入園希望を出していない場合で、入園できなかった場合は待機児童にはならず入園待ち児童となる。

○途切れのない指導・支援事業について、発達の問題や自己の問題をはじめ、不登校やいじめ被害など様々な悩みを持つ児童生徒や保護者に対して、スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施し、課題解決に向けて、教育相談体制の充実を図ることができたとのことだが、何をもって充実を図ったといえるのか。

⇒議員 不登校の問題については、家庭に問題があるというケースが非常に多いという実態があり、教職員が関わるレベルでは解決ができない場合がある。そういった中で家庭訪問を行って状況を把握し、問題を解決していくスクールソーシャルワーカーが大きな役割を果たしているが、その人材が不足している状況なので、議会としてもこれらの人材を拡充するよう政策提言を行った。

○認定こども園については、一定規模の集団を確保していくため、混合クラスで園を運営している状況が3年間続いている公立幼稚園を対象に適正化を図るとのことだが、今後何園がその対象になるのか。先の見通しは怎么样了。

⇒議員 まだ行政としても答えは出せていない。認定こども園化については、議会と議論をして進めていくとの答弁をもらっているだけである。市民の半数以上は公立幼稚園の存続、認定こども園反対の意見であるので、行政も今までどおりの適正化計画で進めることについて一旦立ち止まってもらい、議会もきちんと議論をしていく。また、適正化計画に基づいて認定こども園化を進めるにあたっては、地元合意の取り方にも問題があるということも今議会で議論している。

○スクールソーシャルワーカーについて、現状はスクールソーシャルワーカーの入れ替わりが激しく対応に一貫性がないので、各学校に常駐させるよう要望したい。

⇒議員 スクールソーシャルワーカーについて、最終的には各学校に常時配置することが望ましい。しかし、実現できていない理由は予算ではなく人材不足であるので、そこをどうクリアしていくかが課題である。

○スクールソーシャルワーカーについては人材不足の問題があるとのことだが、時間はかかるかもしれないが、市独自で予算を投入し、人材を育てていくべきという議論はなかったのか。

⇒議員 これらの人材育成については、法的な制約がある部分もあるが、人材をどう育てていくかという視点が必要だということは、行政にも指摘している。

○中学校給食の運営はどうしても赤字になると考えるが、給食費をどのように設定するのか。また、中学校給食の運営主体についてはどこが担うのか。

⇒議員 県地区の農業センター内敷地に中学校給食センターの建設を計画しているが、周辺の交通事情や様々な問題があるため、地元合意が完全にとれておらず候補地も確定していない。そのため、給食費等についてもまだ決まっていない。

○特別支援学級支援員、介助員については、子どもがいる時間全部を見てもらうことができない。また、人材不足の問題もある。この原因は、支援員、介助員の処遇が良くないからであるので、せめて給与を嘱託職員並みにしたり、勤務時間を柔軟にするなど、働きやすい環境になるよう検討してほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

【シティ・ミーティング】

≪テーマ：心豊かな“よっかいち人”を育むまちについて≫

○認知症カフェについて、現在どこに何カ所あり、どんな人が行けるのか。

⇒議員 市内 15 箇所で実施され、グループホームや介護サービスセンター等に設置されている。認知症の方のほか、認知症を知るといふ学びの場にもなっており、一般の市民も訪れることができる。

○登校サポートセンターについて、近くに住んでいる生徒はいいが、遠方の生徒について誰が送り迎えするのか。不登校の生徒、引きこもりの生徒がわざわざそんな遠いところまで行かない。そういった生徒が少しでも参加しやすいような環境や内容を検討す

るべきである。

⇒議員 担当部局に伝える。

○神前幼稚園については、従来から本当に良い幼児教育を行ってきた。今回認定こども園化されるとのことだが、幼児教育の質を落とさないようにしてほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○富田地区における学校通学路で交通事故が多いので、防犯カメラを設置するなど対応してほしい。

⇒議員 担当部局に伝える。

○市内の保育士の質が下がっていると聞くが、市として保育士に対する研修や講習などは行っているのか。

○近年では、大学を出て免許を取る保育士が多いので頭は良い人が多いが、社会経験については劣ってきていると感じる。その理由は、市が一時期保育士の採用を控えていたため、特に公立保育園で経験を伝えていくべき中間世代が抜けているからである。経験が継承されていないのは問題だと感じる。

⇒議員 本市においても保育士を対象とした研修は行っている。また、保育士不足の中で、単に保育士数を増やせば良いということでもない。保育園は、特に0から2歳児保育のように命を預かる現場でもあるので、一定水準の能力をもった人である必要がある。保育士の質が下がっているという声があることを認識しながら今後も研修等を行っていく必要があると考える。

○幼児教育・保育の無償化に伴って待機児童が増えると考ええる。また、私立保育園では給食費の徴収が始まるため、未納者対応の問題も出てくる。これらについて議会ですらう対応をしていくのか。

⇒議員 本市では、待機児童対策として小規模保育事業所の新設を含めて検討しているが、そこで行われる保育の質がしっかりと担保されているか注視していく必要があると考える。また、私立保育園における給食費未納者への対応については、現場の保育士の負担とならないよう、その都度状況等を確認していきたい。未納者対応に時間を取られるのではなく、子どもに向き合う時間を確保できるよう求めている。なお、三重県私立保育園連盟からも、個々の議員に対して要望をいただいております。要望内容の聞き取りも行っている。今後もサポートできるよう努力していきたい。

○公立保育園の開園時間は 18 時までだが、フルタイムの保護者にとっては、それに間に合うように迎えに行くことはとても難しいという声を聴く。せめて 19 時まで開園してほしい。

⇒議員 保育士不足によって正規時間内における保育も厳しい状況の中で、開園時間を広げるのは難しい。今議会でも保育士の処遇改善について政策提言を行っており、まずは良好な職場環境をつくって保育士を確保していくことが第一であって、その上で様々な問題についても考えていきたい。